

「觀察」話を終へて

山村　き　よ

二八

昨年ラヂオの放送に「幼児の時間」が出来ましてから「觀察話」が四回ばかり放送された様に思はれますがその都度さうしたら幼児に落ちついてきかせ、充分に了解させる事が出来るか必ずいぶん苦心したものでございます。普通の童話と違ひ、なか／＼お話にきゝ入る事が出来ませんで、「きく態度」をつくるのに「苦勞でございました。今度私がおのむづかしいと思つてゐた「觀察話」を命ぜられまして「ききての苦勞」でも申しませうか謂るきゝにくい事を充分知つてゐるだけに、さうしてお話の中にひき入れやうといふ事で相當骨を折りました。ここに内容を想像して觀察させなくてはなりませんのでたゞの説明や「教へる」こいふ事をどこまでもさげ度いと思つて内容にも又話方にもするぶん注意をはらつたつもりでございます。そこで幼児には一番興味の持てる自動車と汽車とを主題に取つたわけござ

います。幸ひ「動く」こいふ何より引き入れやすい内容を持つたお話で、ここに擬音等も私の註文通にお願ひ出来ましたので「靜的」な材料よりもはるかに扱ひ易くはございましたが、こかくむづかしい説明になりがちでその點今だに反省させられて居ります。しかし僅か十分ばかりの放送に相當の時日を費して苦心し、「むづかしい事だ」こいふ事を體驗した今、かつてはきかせる事にするぶん苦心した事を思ひ出してこれからの「幼児の時間」をもつこゝ／＼有効に使用して行くのが私共の務ではないか考へられるのでございませう。ふだん「お話をきく」こいふ態度が相當出来てゐると思つてもあのラヂオを前にして坐つた時に人數の關係、場所のつくり方等が用意の爲にこかく氣持ちの落ちつかぬ事もありませう。第一話手の顔が見えないだけに放送の始まる前の注意こいひませうか用意こいひませうか……せひ考へね

ばならないと思ひます。事に觀察話の場合には相當に内容を正確につかませなくてはならないと思ひますので、その態度をつくるのには私達が充分梗概に目を通して心がまへをしておく必要があると思ひます。又お話の終つた後の整理は尙更必要の事かと思ふのでございます。ここに觀察話では一番大事な事ではございませうか。十分間の放送が終つた後少くも五六分の整理をする材料は充分ある事と思ひます。又唱歌の時などはよい練習の氣分がつくれるる事と思ひます。私の園の幼兒も九月末の童話「黒のお客様」をきいた後など實によく發表し合つて皆の力でお話にまごまりここに細いところに記憶力を示されて驚かされました。私など一週間に二三回重ねるお話には一つ／＼充分な力を入れては出来ない場合が多いので幼兒の時間を實にありがたく思つて居ります。幼兒の爲にも私共自身の修養の爲にも實によい事であるだけにその取り扱ひには又充分な心がまへが必要であるといふ事を感じまして、放送を終つた今日、氣持の一部分をのべさせていたゞきました。次に御参考までに放送の梗概の内容をそのまゝのせさせて

いたゞきましたから、さうぞ充分御批評をお願ひ申上げます。何にしても十分間の短い時間で初めの梗概通りでは二十分もかゝつてしまひましたのでだん／＼にけづり取つてこんなに貧弱なものになつてしまひました。(昭和十一、一〇、二〇)

梗概

自動車(タクシー)豆自動車、自轉車、三輪車、市内電車、省線電車、汽車、地下鐵、軍艦、馬、オートバイ、飛行機等をたゞのお話でなく(説明的な)又種類を數へる目的でもなく、乗つた時の感じをお話の中で味はひ、又二音のひびきによつて想像し型の比較、物のうごきについてそれ／＼想像をめぐらしながら汽車と自動車を主題に取つて耳から入るまごころの觀察話でございます。

お話のすじは先づタクシーでラヂオの前の皆さんを自動車にのせて出發、途中最近出來た豆自動車に出會ひ次に自轉車と競走、市電のうごきを感じながら十字路にストップ、靜止してゐる乗物を觀察の後ステーションに到着する

までに乗つてゐる自動車についての部分品について話します。ステーション前では勇ましい軍馬流線型自動車に目をむけ、構内のざわめきのうちに地下鐵のひびきを感じ汽車に乗つてからは車中から省線電車、ボート、ヨット、漁船、汽船、軍艦、飛行機等すべて話し合ひの型をこつてながめてゐる感じを充分想像しながら終りさいいたします。

當日の放送内容(括弧内は擬音)

皆さん、これから旅行に出かけませう。

お支度をして頂戴、いゝ事、もう自動車が御門までお迎へに來てますのよ(自)、さあ出かけませう(自)、あら、これ流線型の自動車よ。皆さんの大好きな流線型ね。おのりする前にぐるつしまわつて見ませうよ。この前の方にいろいろの機械が入つてゐるのを皆さん御存じ?。そうく〜ガソリンの入るくだや、お水の入るところ、電氣のモーターや、小さい扇風機みたいなものまで入つてゐるのよ。また後でゆつくり見せていたゞきませうね(自)。さあ今度はうしろへまわりませう。こんなにうしろの方がさかになつてゐる

でせう。こんなになつてゐるまじてもスピードが出せるんですつて……そしてね、ほこりやごみがあんまりつかないんですつて……。こゝにタイヤのおかわりがついてゐるでせう。これ途中で故障のあつた時さりがへるのね。そして、こゝについてゐないのはこゝのまじころが箱になつてゐてその中におしまひしてあるのよ。街を通る自動車にはすいぶんいろく〜の型をしたのがあるでせう(自)。さあおりませう、運轉手さんお待ち遠様でした(エンツン)(發車)あら皆さんずるぶん嬉しそうね、だつて流線型の自動車にのつてゐるんですね。あらく〜向ふからあんなに小さい自動車……あれ皆さん豆自動車く〜つていつてらつしやるけれど、「ダットサン」つていふのよ。この頃出來た新しい自動車でするぶん方々走つてゐるのを御覧になるでせう(自)、あらいゝ事、お父様が運轉手さんでお客様さお嬢ちゃんがお客様よ、私達の自動車さすれ違ひね(自、自轉車リン〜)、あら、しらない間にここかの小僧さんが自轉車に乗つてこの自動車と競走しますね。ね、ごらんなさいお身體をあんなに前にして(自)(リン〜)おせなかをまるくし

て、一生懸命スピードを出してゐるでせう(自)(リン／＼)、お、あぶないあんまり一生懸命になつてもう少しでたほれそうでしたわね(市内電車)(ピリ／＼ストップ)、まあ丁度電車が向ひ合せに止つて居ますわ。タクシーも乗合自動車もオートバイも皆ストップね(ゴ／＼ピリ／＼)ほら今度は青い色に變つたでせう。市内電車の後の方に居る車掌さん何していらつしやるんでせうね窓からあんなにお身體を出してうしろ向きになつて……ボールをなほしてゐるのね、ほらボールをはづしながら向ふへまわつたでせう。あの電車、ボールが一本上つて下さがつてゐるのわかつて?、もうせんは二本共電線についてゐたのよ。この頃は一本のミこころが多くなつたんですつて……、まあ私達の自動車市内電車を二臺も追ひ越してしまひましたわ(自)するぶんスピードね(自)(市電トマル)。おや赤い矢印が出たでせう。きつさあの道を右の方へまがるのよ、ね、ほら矢印の方へまがつたでせう。かうしないミさつちへまがるのかわからなくつてあぶないんですものね。一寸立つて運轉臺の方をごらんさないな、ハンドルの前の方にスイッチが見えるでせう。あれ

をまわすミさつきの矢印が出るのよ、そしてね、十位かぞへてゐる内に一人でおりにてしまふの。でもね、まだ電氣じかけのやいろ／＼あるんですつて(自)……そう／＼、あのハンドルの下のゴム鞠みたいのは皆さんが一番よく知つてゐらつしやるミこころね。おすミブウ／＼つてなるミこころ。あらいつの間にかもうステーションへ來てしまひましたね。さあおりませう。今度は汽車に乗るのよ(構内ざわめき)この切符を持つてお一人づゝ順々に切つていたゞきませうね。一番向ふのホームに汽車がくるのよ(汽車發車相圖)。かけ出してはだめ、あぶないから、私の後についてゆつくりのりませうね(汽車發車)。あそこのお窓のそばへ行きませう。そしてお靴をぬいでおすわりしてゆつくりお外の景色をながめながらお話して行きませうよ(以下汽車省線)。おや向ふの線路に省線電車が走つてゐるのが見えるでせう。ごらんさない市内電車のボールミするぶん違ふでせう。私達の乗つてゐる汽車も電車機關車だから同じ様なのが屋根の上についてゐるのよ。あら／＼、ミう／＼おひこされてしまひましたわ。でも大丈夫、あの電車が二つも三つもステーション

に止る内には私達の方が先きになるかもしれないね。ほら又止つたでせう(省電止む)。(ピー)。あら鐵橋よ、するぶん大きな川ね、お舟が一そう二そう三そう、お荷物をあんなに澤山つんでここへ行くのでせうね(ピー)。トンネルよ、くらくなつて電氣がついたでせう、そしてトンネルの中にも時々あかりが見えるでせう。トンネルの中にも石ミ石の間にミころ／＼電氣がつく様になつてゐるのよ。ほら又見えたでせう。この汽車は電氣機關車だから窓をしめないでもいいけれど、石炭をたく蒸氣機關車は、トンネルに入つたら大いそぎでお窓をしめなきや大變よ、白い煙が一ぱい入つてくるんですもの。ですからボー／＼ミきてききこえるミ皆大急ぎで窓をしめるのね。この汽車も次のステーションへつくミ蒸氣機關車ミこりかへつこになるのよ。お客様はこのまゝで機關車だけをこりかへるのね。今度汽車が止つたら皆さんでおいて見ませうか。あらもうトンネルを終つて、今度は海よ、まあきれいなお水、遠くの方に白い帆を

かけたお舟があんなに澤山。あれきつミお魚をこりに行く舟ね。あら一隻だけ違つて三角の様な帆をかけたお舟が見えるでせう。あれヨットよ、ヨットはミても早く走れるんですつて……、あつ、飛行機／＼／＼、飛行機が三臺よ以下飛行機爆音するぶん早い／＼。もうちき私達のそばへ来る様ね。あら一番先きのが水上飛行機よ。お舟の様なものも二つも下の方についてゐるのが見えるでせう。後の二臺は陸上飛行機ね、戦闘機かしら？、偵察機かしら？、つばさの裏に小さく日の丸が見えるでせう。そう／＼日本の飛行機ね。いさましい事、皆さんも乗つて見たくなつたでせう。あらあらだん／＼こつちへ来るやうね。私達の汽車の上を通つて、ここへ行くのでせうね。(飛行機爆音、レコード)終り。

(終りはわざミ止めませんで幼兒等の想像にまかせ、又先生方に充分な整理をしていただき度く考へて居りました)。